

2004年Parkfield地震について

(3)今回の地震の特徴と意味、残された問題

長谷川 昭

東北大学大学院理学研究科
地震・噴火予知研究観測センター

第161回地震予知連絡会トピックス(11.15.04)

◎ Comparison with forecast (CISN, 2004)

- ・当初の予測時期(1988±7年)からは遅れたが、2004年9月28日10時17分(PDT)にParkfieldでMw6.0の地震が発生した。
- ・1984年の予測を部分的に満たすものであったが、全てが予測通りに起ったわけではない。
- ・これまでのParkfield地震とほぼ同じマグニチュードで、SAFのほぼ同じ領域を破壊した。
- ・しかし、北西から始まって南東に破壊が拡がった1922年、1934年、1966年の地震と違って(予測と違って)、今回の地震では破壊は南東から始まり北西に伝播した。
- ・また、1934年、1966年の地震では17分前に本震付近の同一のアスペリティパッチでM5の前震活動があったが、今回はM>0の前震活動はみられなかった。
- ・1966年の地震では直前に、断層面に沿うクリープ活動を示すwater pipeの破裂や地表のcrackが断層直上で見つかったが、今回はそのような現象は認められなかった。